

# 中丹米づくり情報

令和2年7月

穂肥編

中丹米  
振興協議会

2020年テーマ

## 増収、高品質化に向けた健全な管理を！

中丹地域では、田植え後から6月10日の梅雨入りまで 概ね高温で推移し、水稻の生育は順調でした。また、昨年のようにガス障害による根傷みや分けつ不足はあまり目立ちませんでした。もし、昨年のようにひどいガスワキ状態で分けつが極端に少ないときは、田面に亀裂が入る程度のしっかりした中干しを行ってください。

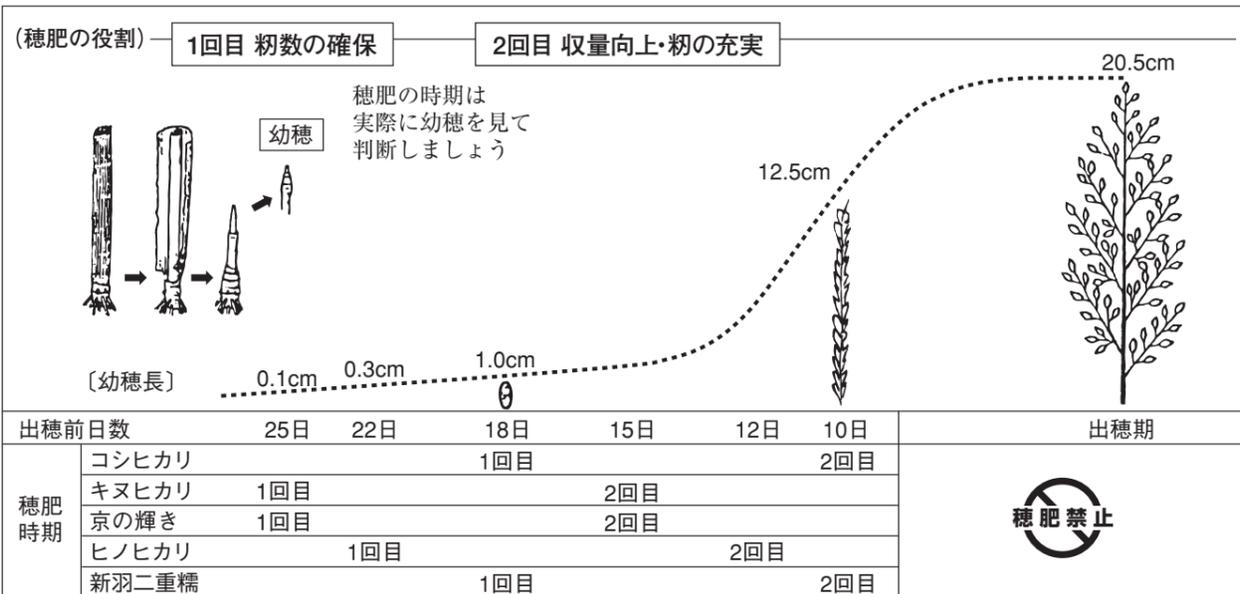
7月からは健全で活力ある根を維持するための間断かんがい等の水管理を始め、穂肥や病害虫防除などおいしい米づくりのために重要な管理が集中する大切な時期ですので、気を付けてください。

気象庁発表の「3か月予報」によると7月は、平年に比べ平均気温が高い確率が60%となっています。今後の気象情報に注意しながら生育に応じた 適正な管理を心がけましょう。

### 品種毎の出穂・穂肥の時期は裏面の表を、穂肥の量は下の表を参考にして下さい。

コシヒカリは①前期穂肥が出穂前18日（幼穂長約1cm）より早いと倒伏しやすくなります。②後期穂肥が出穂前10日（幼穂長約12cm）より遅れると米の蛋白質が増加し、食味が低下します。しかし、**穂肥を省くと充実不足による乳白米が増加し、外観・品質が著しく低下するため、適期に施用しましょう。**

穂の生長と穂肥時期の目安



◎穂肥の施肥基準例 (10a当たり・プロ484の場合)

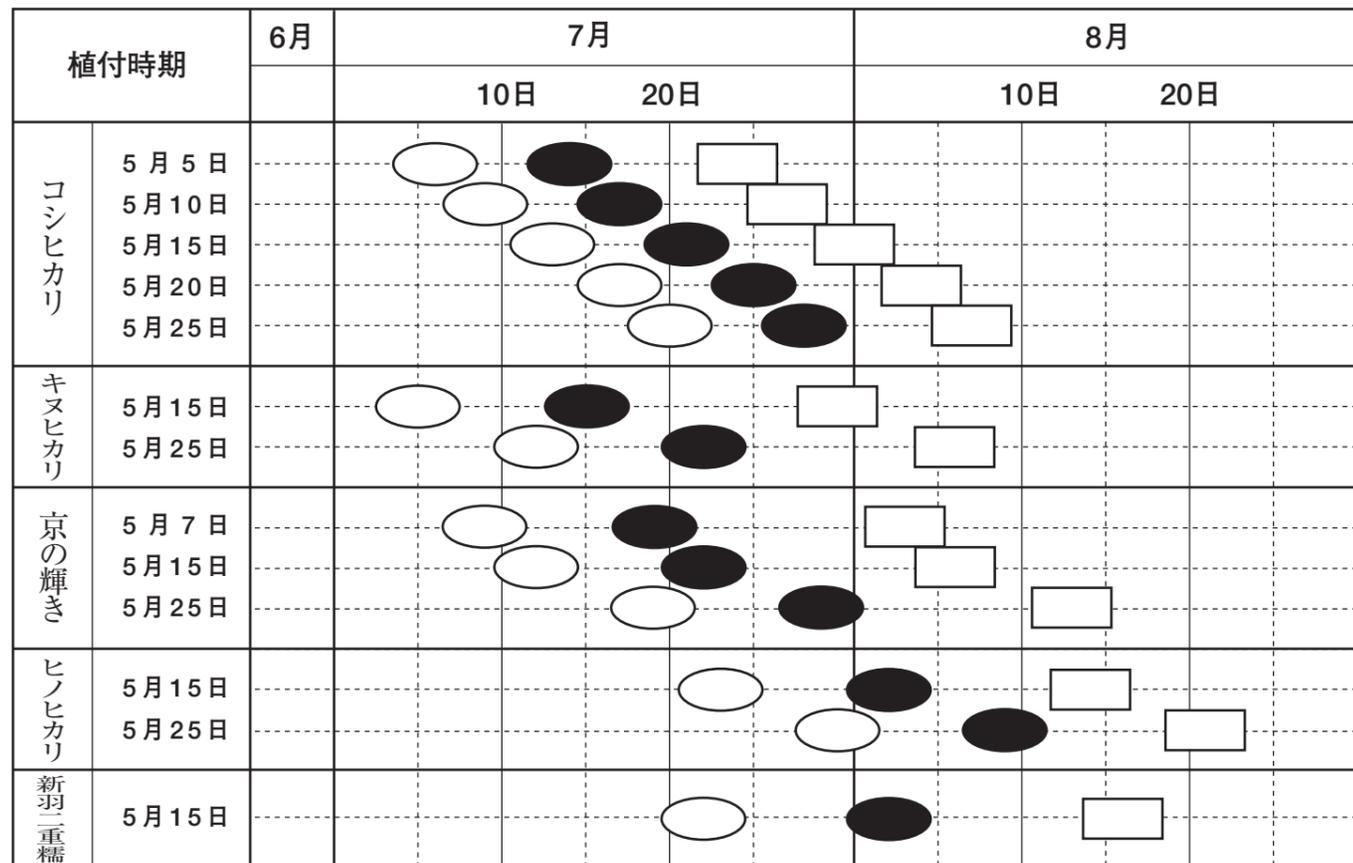
品 種 名	中間追肥 (出穂45日前)	穂肥基準		前期穂肥時期・葉色判断基準	
		前期	後期	時期※ <sup>1</sup>	葉色※ <sup>2</sup>
コシヒカリ	-	15kg	10kg	出穂18日前	3.5以下で施用
キヌヒカリ	-	15kg	10kg	出穂25日前	4.0以下で施用
京の輝き	-	15kg	10kg	出穂25日前	4.3以下で施用
ヒノヒカリ	7kg	10kg	10kg	出穂22日前	4.0以下で施用
新羽二重糯	-	15kg	10kg	出穂18日前	4.5以下で施用

※<sup>1</sup>有機アグレットの場合、前・後期とも4日早めて施用。量はJAにご相談下さい。 ※<sup>2</sup>葉色が判断基準以上の場合、適宜減肥して下さい。

## 水稻出穂予想と施肥時期の目安(稚苗の場合)

中丹地域の平地での出穂目安

○…前期穂肥 ●…後期穂肥 □…出穂予想日



なお、上記の目安は今後の気温・日照条件や地域により若干の変動が予想されます。実際に幼穂を確認しましょう。

## 乳白米防止対策

後期穂肥は遅れずに必ず施用し、中干し後の水管理は間断かんがい、出穂後、夜温の高い日には水の掛け流しにより水田の地温を下げる等の高温回避に努め根の活力を維持させましょう。

また、水稻の刈取り前は早期落水にならないようにしましょう。

## 熱中症対策

- ①気温の高い時間帯をさけて作業するとともに、休憩をこまめにとるようにしましょう。あわせて、水分もこまめにとるようにしましょう。
- ②帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をしましょう。

くわしくはJA・農業改良普及センターへお問い合わせ下さい。